

所 属	教育委員会 社会教育文化課		
担当(係)名	社会教育担当	内 線	3574

新 ふるさと大好き体験プログラムの実施

< 長期構想推進重点政策枠事業 >

1 事業費 【財源内訳】 【主な用途】
 2,700 一般財源 2,700 委託料 2,000 (プログラム開発)
 (前年度 0)

2 背景・現状

少子化等、社会環境の変化により子どもたちが自然や文化、人と直接ふれあう体験の機会が減少し、社会性が低下している。

現在、小学校が実施する自然体験活動は、主に青少年教育施設で行われているが、施設の体験活動プログラムは固定化されているため、体験活動の質を変化させ、施設では体験できない多様な体験活動を県が先導的・モデル的に創出する必要がある。

3 事業目的

市町村に体験活動を実施する小学校と協働で地域の資源を生かした多様な体験プログラムの開発を委託するとともに、体験活動の場を提供する民間施設等からも体験活動プログラムを公募することにより、多様な体験活動をモデルとして普及する。

4 事業内容

(1) 体験活動プログラムの開発

内 容：市町村が受け入れ施設と連携しながら、新しい体験プログラムを開発する。

委 託 先：各圏域1箇所5市町村（小学校）に委託

プログラム：一定の目的を持ち実施される活動内容（立案過程も含む）
 小学校（2泊3日以上）

[開発プログラム例]

宿泊先	主な活動	活動例
お寺	生活体験	座禅、説法、掃除
公民館	伝統文化体験	郡上踊り、民謡
廃校利用施設	農業体験	野菜収穫、伝統食調理

(2) 体験活動プログラムの募集

民間施設やNPOに対してプログラムを公募し、運営協議会において内容を検証した上で、学校等に周知

(3) 指導者養成研修の開催

体験活動の指導者として活動・協力する企画力・運営力を備えた指導者を養成

(4) 運営協議会の設置・運営

自然の家関係者や学校関係者、社会教育関係者、学識経験者等で構成し、委託先の選定、研修内容の研究、事業効果の研究を実施

(5) 普及啓発

開発したプログラム等をホームページに掲載し、体験活動を支援

(款) 10教育費 (項) 7社会教育費 (目) (1)社会教育振興費
 (明細書事業名) 社会教育総合指導費
 ふるさと大好き体験モデル事業費